

みんなで賃上げ。ステージを変えよう！

2024 春季生活闘争ニュース

2024.7.3 - 第28号 - 連合北海道 春季生活闘争本部

2024 年春季生活闘争 第7回回答集計結果について

連合本部は、2024 年春季生活闘争につき、7月1日（月）10時の時点で取りまとめた最終の回答集計について、次の通り発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した5,459組合中5,450組合が妥結済み（99.8%）。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は3,130組合・57.4%で、比較可能な2013闘争以降では組合数・割合とも最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した5,284組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で15,281円・5.10%（昨年同時期比4,721円増・1.52ポイント増）、うち300人未満の中小組合3,816組合は11,358円・4.45%（同3,337円増・1.22ポイント増）となった。最終集計まで5%超えを維持したのは33年ぶりである。賃上げ分が明確に分かる3,639組合の「賃上げ分」は10,694円・3.56%、うち中小組合2,357組合は8,256円・3.16%となり、最終集計で3%を上回ったのは、賃上げ分の集計を開始した2015闘争以降初めてである。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給62.70円（同9.92円増）・月給10,869円（同4,041円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ5.74%・4.98%となり、時給は一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。
- 企業内最低賃金協定改定の回答額は着実に上昇している
- すべての労働者の立場にたった「働き方」の改善やジェンダー平等・多様性の推進に向けても数多くの取り組みがなされている。

連合北海道は、7月1日（月）10時の時点で取りまとめた回答の集計を行った

- 連合北海道にエントリーのあった194組合中188組合が妥結した(96.9%)。そのうち、集計可能な回答を引き出した組合は181組合(昨年同時期比8組合増)、59,436人(同12,756人増)であった。
- 月例賃金の加重平均は、12,708円・4.51%(同3,999円・1.21ポイント増)の引き上げとなり、同様の集計を始めた2016年闘争以降で最も高い数値となっている。
- 回答を引き出した181組合のうちベースアップ分が明確にわかる135組合のベースアップは、8,750円・2.87%(同3,771円・1.07ポイント増)となった。

【組合規模別賃上げ状況 2024年7月1日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込み)	昨年比
～99人	89	4,486人	8,978円(3.77%)	6,573円(3.03%)	2,405円(0.74%)
100～299人	51	8,867人	11,887円(4.86%)	7,863円(3.38%)	4,024円(1.48%)
300人未満計	140	13,353人	10,838円(4.46%)	7,436円(3.26%)	3,402円(1.20%)
300～999人	29	14,422人	12,826円(4.86%)	9,902円(3.66%)	2,924円(1.20%)
1,000人～	12	31,661人	13,321円(4.34%)	8,786円(3.15%)	4,535円(1.19%)
300人以上計	41	46,083人	13,178円(4.52%)	9,173円(3.32%)	4,005円(1.20%)
計	181	59,436人	12,708円(4.51%)	8,709円(3.30%)	3,999円(1.21%)

◎2024 春季生活闘争の北海道集計は 8 月末が最終となっております。要求・回答・妥結情報を連合北海道 2024 春季生活闘争本部までお知らせ下さい。(Fax:011-272-2255)